

読む力を「書く」活動へ

荒川小学校

(いちき串木野市)

実践校2年目。新聞を読むことに慣れ親しみ、「書く」活動へ生か



新聞記事から、知っている漢字などを切り抜く児童ら

いちき串木野市の荒川小学校

すことを目標に、全校児童17人が学年に応じた活動に取り組んだ。土曜授業の朝の15分間を活用。

低学年は新聞の中から知っている漢字を探して切り抜いたり、他校の同学年が投稿した「若い目」の感想を発表したりした。中学年以上は、記事を読んで問題に答えるワークシートを使い、読む力を育てた。国語や社会の授業では新聞を作り、読み手を意識した見出しやリード文を考えた。

日高茉莉子^{まろこ}教諭(25)は「読解力が付き、問いに対する答えの量が増えた。幅広い分野の話題に興味を示すようになった」と手応えを感じた。2年の大崎陽葵^{ひまり}さんは「写真やクイズ、4コマ漫画を見るのが楽しい」と笑顔で話した。

(田上恵)